

ふるさと講座・歴史系第2回目のお知らせ！ 「明治から昭和の交通の要所 奥行地区文化財を巡る」

奥行地区には、駅通、駅、村営軌道と町の開拓の変遷を辿ることが出来る貴重な文化遺産が残され、特に国史跡旧奥行臼駅通所主屋は、昨年度保存修理工事が終了し一般公開されています。

本講座では、奥行地区文化財のお話や見学、保存修理工事が終了した駅通所主屋の見どころなどを詳しく紹介しますので、ぜひ、ご参加下さい。

●日 時 令和元年7月7日（日）午前10時～12時

●場 所 奥行地区文化財

●内 容

文化財の見学と解説など

① 国史跡旧奥行臼駅通所

② 町指定文化財 奥行臼駅

③ 町指定文化財 旧別海村村営軌道風蓮線奥行臼停留所

●講 師 教育委員会生涯学習課文化財担当主幹 戸田 博史

●定 員 30名

●申込み 電話・FAX・メールにて氏名・電話番号を7月5日（金）までにご連絡ください。

●その他 集合は、国史跡旧奥行臼駅通所、お車でお越しの方は、奥行臼駅に車を止めてください。



国史跡旧奥行臼駅通所主屋

町指定文化財 奥行臼駅

町指定文化財 旧別海村村営軌道

風蓮線奥行臼停留所

ふるさと講座自然系第1回目を実施しました。

シギ・チドリ観察会

●日 時 令和元年5月19日（日）

午前9時30分～12時30分

●場 所 野付半島

●講 師 別海町立中春中学校 校長 藤井 薫 氏

●参加者数 9名



ネイチャーセンターでレクチャーのあと、車にて移動し先端部まで、降車しながらの観察となりました。観察出来た野鳥は、下記のとおりです。強風と干潮のため先端部での観察は難しく、中間部へ移動しました。「シギ・チドリ」は例年より少なかったですが、詳しい解説を聞きながらの観察会となりました。

観察した野鳥-19種

シギ科	トウネン・シロチドリ・キョウジョシギ	
サギ科	アオサギ	
チドリ科	シロチドリ	
カモ科	ヒドリガモ・ハシビロガモ・オナガガモ・マガモ	
タカ科	オジロワシ・トビ・ハヤブサ	
ヒバリ科	ヒバリ	
ホオジロ科	オオジュリン	
ムクドリ科	コムクドリ	写真上 シロチドリ
セキレイ科	ハクセキレイ	写真下 キョウジョシギ
ツル科	タンチョウ	
カラス科	ハシブトガラス・ハシボソガラス	



「史跡旧興行白駒通所主屋」発掘調査から

●平成29年度の調査～その2～

(郷土資料館だよりNo.236からの続きです。)

大正9年(1920)に増築された北棟の基礎構造

北棟は、自然石玉石を礎石に使用していました。調査後45個確認され、この内、礎石地業が有るものが44個ありました。地業とは、礎石が沈みこまないようにするために穴を掘り、砂利などを入れ地固めするものです。北棟では、30~60cm前後の隅丸方形の穴で、10~20cmぐらいの砂利が入れてありました。その後の改築などが見られなかったので、大正9年(1920)建築当時のものが、そのまま残っていました。



※写真上 調査前

写真下 調査後の礎石地業

別海町郷土資料館だより No.239

発行日 令和元年6月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記 先月は、急に猛暑となりました。明らかに異常気象ですね。この先どうなることやら心配です。自然系のシギ・チドリ観察会は、コンディションが悪く強風でしたが、数種の鳥が観察出来ました。来月の講座は完成した駒通の主屋を詳しく解説します。ぜひ、ご参加ください。(K.I)